

[準硬式野球]

勝ち点3でリーグ戦3位

笠間が首位打者に 藤沢は最優秀投手

東都大学準硬式野球春季リーグ戦 専大は7勝5敗・勝ち点3で3位となった。

個人では、笠間隆雄(文2・専大松戸高)が首位打者を獲得。藤澤亮太(経済4・竜ヶ崎一高)が最優秀投手を受賞した。また、ベストナインに投手・藤澤、捕手・笠間、三塁手・松本歩(経営2・専大松戸高)、外野手・新井藍(商4・松代高)の4人が選出された。新井は2季連続4度目の受賞。



左から松本、新井、笠間

(木村 太一・法2)

[バドミントン]

東海大に勝ち4位をキープ

関東大学春季リーグ戦 4月30日から5月5日まで、日体大健志台体育館で行われ、専大は2勝3敗の4位で終えた。

初戦のつくば国際大に4―1で快勝するも、青学大、早大、日体大と3連敗。最終の東海大に接戦の末3―2で勝ち、4位をキープした。

(伊東 明希・文3)

[卓球]

男子は5位確保 来季へ向け課題

春季関東学生卓球リーグ戦 5月9日から13日までの5日間、代々木第2体育館で行われた。昨秋の1部リーグで優勝を収めた男子は、初戦の駒大を4―1で下し、幸先良いスタートを切ったが、その後まさかの4連敗で5位。また、女子も2部リーグで4位と奮わなかった。

猪本亮主将(経済4・徳島北高)は「他大学との力の差をしっかりと受け止め、日ごろの練習から頑張っていきたい」と話した。

(橋本 麻未・経済2)



チームを引っ張った猪本主将(右) 原雅彦(左)組

[レスリング]

「第14回ABNスポーツ大賞」—小林が新人賞受賞

アマチュアスポーツ界で目覚ましい成績を収めた長野県出身の選手や団体を表彰する「第14回ABNスポーツ大賞」(長野朝日放送主催)でレスリング部の小林敏雄(経営1・上田西高)が新人賞を受賞した。

授賞式は5月23日、長野市の「ホテル国際21」で行われた。

小林は高校時代に84kg級で全国高校選抜とインターハイの2冠を達成。ベラルーシ国際ジュニア大会でも準優勝を果たすなど、輝かしい成績を残し、今回の受賞にいたった。

「努力してきたことが認められ、受賞出来てうれしい。多くの方に感謝しています。在学中にもっと力をつけ、オリンピックで活躍したい」と、今後を見据えた決意を語ってくれた。

(清水 智之・ネット情報2)

[剣道]

特別参加校で出場—ベスト8

第50回記念西日本学生剣道大会 5月28、29日、福岡市民体育館で135校が参加して行われた。専大は関東代表として特別参加校で出場し、ベスト8入りを果たした。

渡部晃史主務(法4・福岡大付大濠高)は「今大会で見えてきた課題を克服し、7月の全日本学生剣道選手権(個人戦)、9月の全日本学生剣道優勝大会(団体戦)での優勝を目指して、精進していきたい」と語った。



勢ぞろいした剣道部員

《OB・OGコーナー》

藤田さんが優勝

ゴルフ・マンシングウェアオープンKSBカップ プロ14年目の藤田寛之さん(平5経済)が初日から首位を独走し、2位に3打差をつけトータル18アンダーで優勝を遂げた。(ツアー通算5勝目)

片山が新入幕で勝ち越し

大相撲夏場所 前頭16枚目の片山伸次関(平14商=阿武松部屋)が8勝7敗で勝ち越した。新入幕を果たして臨んだ今場所、2日目に初日を出すと、得意の“押し相撲”で13日目に勝ち越しを決めた。

また、序の口14枚目の中西健二さん(平17経営=阿武松部屋)は7戦全勝で序の口優勝。初土俵を踏んだ春場所の前相撲で2勝を挙げ、一番出世 披露を行うなど、順調に白星を重ねている。

黒田選手が5月MVP

プロ野球 広島東洋カープのエース・黒田博樹投手(平9商)が5月に4勝を挙げ、セ・リーグ投手部門の月間MVPに選出された。今季は150キロを超えるストレートとフォークボールを中心に8勝2敗、防御率2.44)と好調を継続している。

阪神タイガースの江草仁貴投手(平15経済)も25試合に登板し2勝1敗、防御率1.77)と、リリーフとして奮闘している(いずれも成績は6月12日現在)。

三谷さんが日本代表に

女子バスケットボール 日本代表に三谷藍さん(平13経営=富士通)が初選出された。

5月に行われたFIBAワールドリーグではフォワードとして3試合に出場し、12得点を挙げた。

6月のFIBAアジア選手権、10月の東アジア競技大会でも活躍が期待される。

波多野さんがbjリーグ「大阪」から一巡目指す

男子バスケットボール 波多野和也さん(平17経営)が、11月に開幕する日本初のプロバスケットボールリーグ「bjリーグ」の大阪エヴェッサからドラフト1巡目で指名を受けた。

NBA入りを目指す波多野さんは、既存の実業団リーグ「JBL」ではなく、プロ入りを目指し、今年2月に行われた同リーグのトライアウトに挑戦していた。

[馬術]

富沢健悟監督が文科省から表彰

馬術部の富沢健悟監督(昭61経済)が、日本代表監督を務め、団体優勝を果たした第6回世界学生馬術選手権での功績を認められ、『国際競技大会優秀者』として文部科学省から表彰されることが決定した。

なお、表彰式は6月24日(金)、東海大学で行われる。

《国際大会出場選手》

◇フェンシング部

鈴木彩香 ラスベガス国際大会(6月17～19日＝米国・ラスベガス)

山崎 晋(経済4・東京学館新潟高)

眞野純一(法3・富山西 高)

後藤健太郎(経営2・大分豊府高)ベネズエラ国際大会(6月10～12日＝ベネズエラ・パルクシメト)

[空手]

4大学参加成果を披露

日本空手道松濤會学生連盟主催演武大会 5月22日、中央大学の第一体育館で行われた。今回で40回目
この演武大会には、専大のほか中大、成城大、学習院大が参加し、日ごろの練習の成果を披露した。

(中西 俊介・ネット情報2)

[水泳]

東日本水球リーグ戦 Aグループ3位東日本で8位に

東日本水球リーグ戦 5月7日から29日まで、専大生田プールほかで行われた。

リーグ戦Aグループの専大は、3勝2敗の3位でリーグ戦を終了。5～8位決定戦で全中央大、全筑波大に敗れ、8位となった。

《記録コーナー》

◇アーチェリー部

▽全日本学生東日本大会(5月28、29日=北海道野幌総合運動公園)山本泰志(経営3・大宮開成高)=12位、小林有士(経営2・千葉黎明高)=18位、下田岳史(経済3・西湘高)=37位※山本が東西対抗戦(6月29、30日)の出場権獲得

◇フェンシング部

▽東京都ジュニア選手権(4月23日~5月22日=東京厚生年金スポーツセンター)【男子】フルーレ・大久玲(経営1・仙台商)=3位、エペ・田端洋平(経営1・武生商高)=7位

▽東京都個人選手権(4月23日~5月29日=同右)【男子】サーブル・島村智博(経営4・東亜学園高)=3位、エペ・樋口直哉(文2・柏陵高)=6位、【女子】フルーレ・舟山紗智(経済3・米山東高東高)=8位

◇野球部

▽東都大学野球春季リーグ戦(2部)4勝7敗1分・勝ち点2=4位